

MGF は、☑神第一主義、☑キリスト中心主義、☑聖霊主導主義の教会

## 礼拝黙想 Meditating on Worship

「足のない人を見るまでは、靴のないのをこぼしていたものだ」(三浦綾子)

A「なんと美しいことか。高貴な人の娘よ、サンダルをはいたあなたの足は。あなたのもの丸みは飾りのようで、名人の手のわざだ。」(雅歌7:1)

## 美しい足

良い知らせを伝える人の足は、山々の上にあつて、なんと美しいことか。  
イザヤ書 52:7

ジョン・ナッシュは先駆的な数学の研究により1994年のノーベル経済学賞を受賞しました。それ以来、彼の理論は競争や競合の精神力学を理解するために世界中の企業に用いられています。彼に関する書籍と映画は、ナッシュが「美しい心」を持っていたと語りますが、それは、彼の脳が美しい形状をしていたということではありません。彼の脳が美しい行為をしたという意味です。

旧約聖書の預言者イザヤは「良い知らせを伝える人の足は、山々の上にあつて、なんと美しいことか」(イザ 52:7)と語り、足を「美しい」と言い表しましたが、それは足の肉体美ではなく、足が美しいことを行ったからです。神に対する不信の罪でバビロン捕囚となって70年が経った後、使者が遣わされ、励ましの言葉が届けられました。「主が……エルサレムを贖われた」(9節)ので彼らは帰郷できるのです。

この良い知らせは軍事力や人間の努力に基づくものではありません。むしろ、神の「聖なる御腕」(10節)が、彼らのために動いたからです。今日の私たちにも同じことが言えます。キリストの犠牲のおかげで、私たちは霊の敵に勝利を収めました。その事実に応答して、私たちは福音の使者となり、美しい足をも

つて、平和、朗報、救いを周りの人に伝えます。

キリストの犠牲という良い知らせを届けてくれたのは誰でしたか。そしてあなたは、その知らせを誰に届けますか。

父よ、キリストの犠牲について教えてくれる人を私の人生に遣わして下さり感謝します。私も喜んでそれを伝えられるように助けてください。

## 最高の知らせ

見よ。良い知らせを伝える者、平和を告げ知らせる者の足が山々の上にある。ナホム書 1:15

私たちはテレビやラジオ、ネットやスマホを通じて、世界中のニュースにさらされます。その大半は犯罪、テロ、戦争、不況など悪いことですが、悲惨の間を貫くように、自己犠牲的な親切、画期的な治療法の開発、和平交渉の進展等の良いニュースが届くこともあります。

さて、旧約聖書に記されたふたりの言葉が、戦火に疲れ果てた人々に大きな希望をもたらしました。ナホムは、冷酷非道な強国に対する神のさばきが近づいている、「見よ。良い知らせを伝える者、平和を告げ知らせる者の足が山々の上にある」と言いました(ナホ 1:15)。この言葉は、残忍な圧政の元にあるすべての人々に希望を与えました。また、これとよく似たみことば、「良い知らせを伝える者の足は山々の上にあつて、なんと美しいことよ。平和を告げ知らせ、幸いな良い知らせを伝え、救い

を告げ知らせ…る者の足は」(イザ 52:7)は、イザヤの預言です。

最初のクリスマスの夜、ナホムとイザヤが預言した希望は成就しました。天使が、羊飼いたちに「恐れることはありません。今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせに来たのです。きょうダビデの町で、あなたがたのために、救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです」と告げたのです(ルカ 2:10-11)。

私たちの日常生活の中で最も重要なニュースは、救い主キリストがお生まれになったという最高の知らせです。

イエスの生誕は、この世が受信した最良のニュースだ。

## 足に良い知らせ

まことに、あなたは私のたましいを死から、私の目を涙から、私の足をつまずきから、救い出されました。私は、生ける者の地で、主の御前を歩き進もう。詩篇 116:8-9

靴下屋の宣伝ににっこりしました。「足の歴史上、最も履き心地のいい靴下」とあり、さらに良い知らせを告げています。このメーカーは、ソックスが一足売れるごとに、もう一足を、ホームレスの保護施設に寄付するというのです。靴下はホームレスの保護施設で最も必要とされるアイテムのひとつだからだそうです。

38年間歩けなかった足をイエスに癒やしていただいた男性の笑顔を想像してみてください(ヨハ 5:2-8)。一方、そ

れを快く思わなかった神殿の祭司たちの正反対の表情も想像できるでしょう。その男性に手を差し伸べた人は、今まで誰もいませんでした。そんなかわいそうな人の足と心にイエスが触られたのに、指導者たちは、安息日に働いてはならないという律法を盾に取って、ふたりを非難しました(9-10 節、16-17 節)。彼らの視点は規則であり、イエスの視点は、あわれみの必要性でした。

男性はこの時、足を治して下さった方が誰なのか知りませんでしたが、やがて、それがイエスだと分かりました(13-15 節)。そのイエスが、ご自分の身体を十字架に釘づけにするために差し出されたのです。それは、人の痛み、病んだ心と身体の上、この男性や私たちにとって、最も良い知らせです。

あなたの周りの人々には、どんな必要がありますか。イエスは、あなたの必要にどのような形で応えてくださいましたか。

あなたが健全になるように、イエスはどのように導いて下さったか、誰かに話してみませんか。

### すばらしい足の指

たとい、足が、「私は手ではないから、からだに属さない」と言ったところで、そんなことでからだに属さなくなるわけはありません。 I コリント 12:15

最近、不可解なスポーツの話の聞きました。こんなことに興じる人がいるとは、何とも不思議だと思えます。それは「足の指相撲」です。毎年、イギリスで世界選手権が開催され、各国の人々が集まります。選手たちは素足になって、互いに向き合って地べたに座り、片方の足の親指同士を絡ませます。

そして、腕相撲が相手の手を机に押さえつけるように、相手の足を床に押さえつけようとするのです。

このめずらしい競技は、(ここに物を落としたりしない限り)普段は気にかけることのない身体の部分に脚光を当ててくれます。足も足の指も不可欠なのですが、怪我でもしない限り、ほとんど関心が払われません。使徒パウロが、キリストのからだにどうでもよい部分はないということを教えるために「足」を例に用いたのは、そういう理由かもしれません。彼は、コリント人への手紙第一の 12 章 15 節で、「たとい、足が、『私は手ではないから、からだに属さない』と言ったところで、そんなことでからだに属さなくなるわけではありません」と言いました。足が身体の一部であることは、自明の事実です。

パウロは、キリストのからだを構成している各々の人は大切な存在だと、私たちが認識することを望んでいます。たとえあなたが、自分はキリストのからだの中で最も見下され、無視されている存在だと感じていたとしても、あなたは価値ある存在です。ですから、あなたのできることをすべてを、神のご栄光のために用いましょう。そうすれば、脚光を浴びることをしなくても、神に栄誉を帰することはできます。

神は小さな道具を用いて、大きな御業をなされる。

### 恐れから信仰へ

私の主、神は、私の力。私の足を雌鹿のようにし、 ハバクク 3:19

医者言葉に呆然としました。彼女は夫と子どもたちのことを考えました。癌です。家族は良い結果を願って必死に祈ってきたのです。彼女は頬を伝わる涙を拭いもせず静かに祈りました。

「神さま。私たちの手には負えません。あなたの力が必要です。」

病気の診断が絶望的だったり、どうしようもない状況に追い込まれたりしたときは、どうすればよいのでしょうか。将来に希望が持てそうにないとき、どこを見ればよいのでしょうか。

預言者ハバククは、どうしようもない状況に置かれ、恐ろしさで正気を失いそうでした。来るべき裁きは壊滅的です(ハバ 3:16-17)。しかし、その緊迫と混乱の中で、ハバククは信仰に生きようと決めました(2:4)。主にあつて喜ぶことを選択しました(3:18)。彼は状況や能力や財力などに頼るのではなく、神が良いお方であり、偉大なお方であるという信仰を頼りにしました。その信仰が、彼に「私の主、神は、私の力。私の足を雌鹿のようにし、私に高いところを歩ませる」と宣言させたのです(19 節)。

自分や家族の病気、経済的な問題など難しい状況に直面するとき、私たちも、ひたすら神を信じ、信頼しなければなりません。神は常に私たちとともにおられます。

主よ、いつでもあなたを頼れることを感謝します。人生の苦境に立つとき、あなたに信頼します。あなたは私の「避け所、また力。苦しむとき、そこにある助け」(詩 46:1)。そのことを感謝します。

苦境に陥るとき、神が私たちの力だと信じていることができる。

デイリーブレッドより

\*\*\*\*\*

「私たちが無力なとき、イエスの能力の中に足を踏み入れることができるのは大きな喜びです。」(コーリー・テン・ブーム) Ω

### <お知らせ ANNOUNCEMENT>

★おすすめの映画『サウンド・オブ・フリーダム』 長野県下の上映館：TOHO シネマズ上田のみ  
★11月3日(日) MGF 秋の運動会

MGF はキリスト狂徒の集まるキリスト狂会

「教会 [マラナサ・グレイス・フェローシップ (略称：MGF)] はキリストのからだであり、すべてのものをすべてのもので満たす方が満ちておられるところです」(エペソ 1:23)。「あなたがた [MGF] は、キリストにあつて満たされているのです。キリストはすべての支配と権威のかしらです」(コロサイ 2:10)。